

ナンバリング	B④04	科目名	こどもと文化
担当形態	単独	担当教員	池谷 潤子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	特になし		
開講時期	講義	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・映像や資料をもとにディスカッションを行い、保育・子育て文化の多様性について理解し、その特徴を自分の言葉で説明できる。 ・異なる文化的背景をもつ保育・子育ての事例を比較し、その特徴や背景にある価値観を分析できる。 ・自分の経験や将来の保育観と結びつけて考察できる。 		
授業の概要	<p>この授業では、こどもを取り巻く文化について、さまざまな視点から考察します。取り上げるテーマは、日本および諸外国の子育て文化（国際的な比較映画、森のようちえん、保育における主体的な遊び）に加え、「かがくえほん」から広がる保育と遊びの実践です。</p> <p>多角的な視点から日本の保育・子育て文化を客観的に捉えることで、子育て環境の多様性や、遊びを通して育つ子どもの姿への理解を深め、気づきと考察を促すことを目指します。</p>		
授業計画	<p>第1回 子育て文化を考える(1)映像視聴</p> <p>第2回 子育て文化を考える(2)ディスカッション</p> <p>第3回 森のようちえん(1)ドイツの実践を知る</p> <p>第4回 森のようちえん(2)日本(長野)の実践を知る</p> <p>第5回 「かがくえほん」のちから(1)絵本から広がる遊びを経験する</p> <p>第6回 「かがくえほん」のちから(2)遊びの実践と記録づくり</p> <p>第7回 保育における主体的な遊びを考える(1)映像視聴</p> <p>第8回 保育における主体的な遊びを考える(2)ディスカッション</p>		
準備学習と必要時間	毎回 60 分の予習と復習の時間をとること。		
評価方法	<p>授業での取り組み(ディスカッション) 40%</p> <p>コメントペーパー 30%</p> <p>期末試験(課題レポート) 30%</p>		

参考文献	森のようちえん～自然の中で子育てを～ 今村章光(解放出版社) 日本の森のようちえん 内田幸一(ミツイパブリッシング) 自然保育の素：こどもと一緒に野外を楽しむ(ミツイパブリッシング)				
特記事項	なし。				
課題へのフィードバック方法	発表、コメントシート、課題レポートに関して、全体へのフィードバックと解説を行います。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験	(池谷)国外保育園での音楽と動きの教育についての講師経験、日本人学校での幼稚園教諭経験があり				